

## 【報告】

## 第226回 全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 徳島

## 【講習会】

- ◆開催日：2017年（平成29年）11月19日（日）
- ◆場 所：徳島県医師会館（徳島県徳島市）
- ◆主 催：徳島県医師会、日本禁煙科学会、禁煙健康ネット、禁煙マラソン
- ◆後 援：健康日本21推進全国連絡協議会

## 【主たるプログラム】

- ◇第一部
  - 職域におけるCOPDの予防と治療 山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座 松永和人
- ◇ランチョンセミナー（ファイザー共催）
  - 禁煙支援最新情報 日本禁煙科学会 高橋裕子
- ◇第二部
  - 産業現場での禁煙推進と産業医の役割 日本禁煙科学会 高橋裕子
  - Q&A

## 【第226回全国禁煙アドバイザー育成講習会 in徳島に参加して】

11月19日（日）に徳島県医師会館で開かれた第226回全国禁煙アドバイザー育成講習会に参加しました。毎年初冬に徳島で開かれるアドバイザー講習会にはいつも参加させてもらっています。

午前中は山口大学大学院医学研究科呼吸器・感染症内科学講座教授の松永和人先生の講演がありました。「職場におけるCOPDの予防と治療」についてでした。50歳以上の男性喫煙者であればCOPDになる確率は高く、COPD非発症の喫煙者の肺癌は1/20人であるが、COPD発症の喫煙者の喫煙者の肺癌は1/5人の割合であり、高率に肺癌が発症すること。COPDの治療としてLABA/LAMAの合剤が有効であることなどの話がありました。

ランチョンセミナーでは高橋裕子先生による「禁煙支援最新情報」の話がありました。タバコが日本に入ってきたのは黒田勘兵衛の時代であるとか、前回の東京オリンピックの時の日本の男性の喫煙率は85%であった。現在は男女合わせてH22年度には19.5%になっている。H34年度には12%を目指している。現在の喫煙率は東高西低で、奈良県は全国最低（禁煙率トップ）であり、徳島県は西日本では喫煙率は高い方である。また吸い終わっても45分間は有害物質を吐き出している（45分間ルール）など、身近な話題を話して下さいました。

午後から小中学生の描いた禁煙ポスターの表彰式がありました。大人の喫煙について親も含めて、子供は敏感に反応しているのが判ります。大人が変われば子供も変わる、ということを肝に銘じなければなりません。

午後の部は高橋裕子先生による「産業現場での禁煙推進と産業医の役割」と題して、今話題の電子タバコや加熱式タバコよるについて話をされました。iQOS(PM)、グロー(BAT)、プルームテック(JT)のそれぞれの構造と成分の比較、燃焼式タバコとの有害性の比較など詳細のデータに基づき話されたのでよく分かりました。加熱式タバコによる受動喫煙はわずかであっても、有害とことが医学的に検証されているので、量の多寡にかかわらず受動喫煙を生じることは有害であることを認識しなければならないなどを熱く語られました。

禁煙に関しては後進国である日本では、2020年のオリンピックに向けて、以前の塩崎厚労相の時の案である喫煙可能な店舗面積が30平米以下であったのが、現厚労省案（加藤厚労相）は150平米以下になるなど、大幅に後退しております。禁煙先進国になるために禁煙科学会の活動をしっかり進めていかねばならないと痛感しました。

最後は徳島らしく阿波踊りで締めくくりました。

（報告者：徳島健生病院・丸亀市国民健康保険本島診療所 内科 林和廣）